

川崎市公文書館だより

~Kawasaki City Archives News~



KAWASAKI CITY

第33号 平成27年10月



写真は、昭和46年11月に生田緑地で、科学技術庁、通産省、消防庁、建設省が行った実験中に発生した、斜面崩壊事故関係の文書群です。

この実験は、緑地内の斜面に散水して降雨を再現し、人工的に斜面崩壊を発生させてデータを収集することが目的でした。予備実験の後、11月9日から散水を開始しましたが、11日午後3時30分ごろ斜面が予定外に崩壊し、実験見学者や報道関係者が土砂にのみこまれました。この事故により、実験の見学者や報道関係者等が生き埋めになり、市職員1名を含む15名が死亡、10名が負傷しました。この実験失敗は大きく報じられ、当時の科学技術庁長官が責任を問われて辞任しています。

国は事故原因究明のために委員会を設けましたが、市も独自に事故調査対策委員会を設置し、事故対策と共に同種事故の防止のための研究を行い、その記録を文書に残しています。

大きな被害となった原因は、予想以上の土砂の流出量と速度であったことと、不十分な安全対策など、事前準備の不備が挙げられています。

このような不幸な出来事についても、記録を歴史的公文書として確実に未来へ残すことで、将来の市民の安全を守ることに繋がります。

(歴史的公文書 生田1-1「ローム斜面崩壊実験事故関係書類」ほか12点)

発行 川崎市公文書館



聞いて損はない！？古文書のつづき⑩



～古文書がお披露目されるまでpart.2～

皆様、ご無沙汰しております。古文書でございます。

食欲・芸術・スポーツと秋は活動をするのに最適ですが、個人的には古文書の秋もおすすめです。

さて、今回は古文書が当館にやってくる所までを紹介しましたが、今回はその後の複製古文書が作成されるまでの流れを紹介していきます。

(3)古文書の整理

お預かりした古文書は、現地調査時に確認した資料の保管場所ごとに区分し（ex.箱A・筆筒B）、その範囲内で保管されている史料を1点ずつ中性紙封筒に入れていきます。

特に洋紙は、インクのにじみ防止や漂白剤などの薬剤により酸が発生し、紙の繊維組織が破壊されてポロポロになりやすくなっています。その酸性化を食い止めるために中性紙封筒に保管します。また、光や害虫、破損などの物理的・生物的劣化を防ぐ役割もあります。

封筒に入れる際は古文書のクリーニングを行い、封筒には目録作成のための整理番号・表題・作成年月日・作成者・劣化状況など情報を記録し、仮目録を作成していきます。



インターンの学生さんも整理に挑戦！

(4)目録完成、複製古文書作成へ

仮目録の体裁を整え最終的な目録が完成すると、所蔵者の方へ成果物として目録をお渡しします。そしてこれら古文書を市の歴史資料として市民の利用に供するために、一般公開に向けて複製古文書を作成していきます。

…今回はここまで。続きは次号で！！

公文書館のお仕事～公文書の引継作業～

川崎市公文書館は、歴史的公文書だけでなく、現用文書を保存する中間書庫の役割も果たしており、公文書館の書庫には、保存期間5年以上の公文書が10万冊以上保存されています。その公文書のうち、毎年1万数千冊もの公文書が廃棄文書となります。今年度は、6月上旬から7月上旬にかけて公文書の廃棄作業を行いました。

廃棄作業が終了すると、毎年7月中旬から10月下旬にかけて、今度は新たに公文書館保存となる公文書の引継作業が行われます。公文書の引継作業にあたっては、まず公文書館保存となる公文書のシステム入力が行われ、システム入力完了後に「完結文書引継目録」が作成されます。そして、公文書館保存となる公文書の引継審査が行われ、審査を通過した公文書は、ダンボール箱に詰められ、車に載せられ揺られて、公文書館へとやってきます。

公文書館における引継作業は、①公文書が入っているダンボール箱が到着予定数通りにきていることを確認し（写真1）、②確認が済んだ箱を書庫内の通路に並べていき（写真2）、③公文書がきちんと来ていることを「完結文書引継目録」で確認しながら目録順に配架（写真3）という流れで行っています。



写真1（左）、写真2（中央）、写真3（右）

平成27年度 入門古文書講座の開催



平成27年8月9日、16日、23日の3日間、入門者向けの古文書講座を開催しました。講師は、当館非常勤嘱託職員歴史担当の菊地悠介が担当しました。

たくさんの参加申込をいただきましたが、収容人数の関係上、抽選の上決定した30名の方に受講していただきました。

当館では、毎年、古文書講座を初めて古文書に触れる人を対象にした入門編から、初級、中級と習熟度に応じて3つのコースの古文書講座を開催しています。

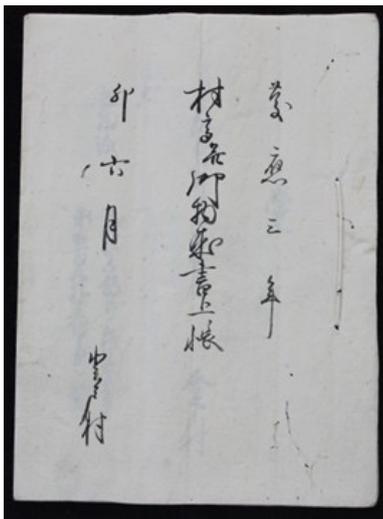
この入門編について、例年、雑多な文書群から定型的で平易な文書を選び、テキストとしていました。しかしながら、今年度は特定の地域に絞った方が内容が理解しやすいと考え、梶ヶ

谷村の名主であった田村家旧蔵の文書（「旧田村家文書」）と登戸支所・出張所に旧蔵されていた登戸村の文書（「旧支所・出張所資料（近世）」）の二つの村方文書をテキストに使用しました。

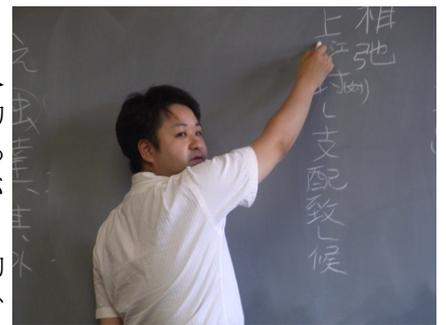
さらに、入門者に分かりやすく、古文書を今後読む上での基礎知識が多く含まれる「御触書御請証文」「宗門人別御改帳」（梶ヶ谷村）「村高并御物成書上帳」（登戸村）などを取りあげ、内容と歴史的背景にも言及しながら講義を行いました。

休憩の合間や終了後、講師に積極的に質問されたり、講座の終了時間が少し延長しても一生懸命に古文書を読んだり、受講者全員が熱心に受講していました。

当館では、今後も講座の内容等を工夫し、当館に所蔵されている資料に関心をもっていただき、それら資料の整理・保存・公開閲覧にまでつなげていただけるよう努めていきたいと考えています。



「村高并御物成書上帳」



菊地講師の熱心な講義

今回の講座を受講してお気づきになった点、ご意見などをいただきましたのでご紹介します。

- ☆今回の講座を受講して、学ぶ事の楽しさを大いに味わう事ができました。そしてもっと知りたい、学びたいという欲も出てきました。またこのような機会に出会える事を望みます。
- ☆入門講座ということでしたが、私にとってはたいへん難しかったです。とても勉強になりましたので、今後も学んでいきたいと思えます。
- ☆1回の時間が2時間では短すぎる。3時間は必要と思う。回数も5回位必要では書くことにより文字に慣れるので基本的なところを書く練習をすると尚理解が進むのでは？それには3回では不足ですが・・・。
- ☆古文書を学ぶことにより地域の庶民・農民の歴史、生活様式等を知るきっかけになりました。
- ☆古文書は「なぞとき」の様で楽しいですね。ありがとうございました。

・・・他、多数のご意見・ご要望をいただきました。ご協力ありがとうございました。

公文書館の散歩道

公文書館付近の商店街を歩く

武蔵小杉駅の南口から徒歩3分、府中街道を渡ったところから全長250メートルほどの商店街が始まり、およそ100の店舗が並んでいます。

『法政通り商店街』ですが、通りの先に「法政大学第二中・高等学校」があることからこの名がついたそうです。どこにでもありそうな小さな通りですが、歩いてみるとそれなりの趣と発見があります。

インターネットを覗くと「タワーマンションの谷間に残る風情とせせらぎ」と紹介されています。林立する高層マンションに囲まれているが、この「せせらぎ」とは通りの真ん中を流れる「二ヶ領用水」のことで、県内で最も古い人工の用水路です。春には用水沿いの桜を目当ての大勢の見物客で賑わいます。

「風情」とはこの用水沿いの風物のことでしょうか、この時期には商店街と地域住民が一体となつての「花見市」が開催されます。

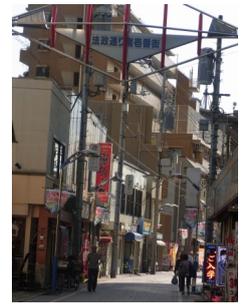
紙面の都合と独断で飲食店に絞ってみると、イタリア系からインドネパール系まで沢山の店がありますが、テレビの〇〇天国でも紹介されたレストラン、いつも行列のシナそば屋（バナナがスープの隠し味）、中華粥が自慢の店（いろいろな具が入ってる）、元相撲取りが始めた鰻屋（ちゃんこが名物で店内に土俵あり）等々ありますが、通りの横には「日本紅茶協会認定」の喫茶店（紅茶講座あり）、小さいながらもロコミで客を呼ぶパン屋（すごく狭い）など隠れた人気店があります。（是非探してみてください。）

また、様々なイベントも開催していて、夏には全長80メートルの大そうめん流し、針金ハンガーを骨組みとした「ねぶた」とペットボトルを利用した竿燈が練り歩く「夜みこし」があります。両イベントとも10年以上の歴史があり、いまでは小杉の風物詩の一つになっています。

かつて大型商業施設の進出による危機を乗り越え、商店街として個性のある店作りを目指した結果が、この活力のある地域を作っているのでしょう。

今回は小杉にある九つの商店街の一つを紹介しましたが、公文書館にお寄りの際には、散歩がてら商店街めぐりを楽しんではいかがでしょうか。

秋風が浴衣に入る散歩道ビルの谷間に翺雲うく
（おさんばびと）



◇開館時間

午前8時30分から午後5時まで

◇休館日

毎週月曜日

祝日法に定める休日（休日が月曜日に当たるときは火曜日も休館です。）

年末年始（12月29日から1月3日まで）



川崎市公文書館

〒211-0051 川崎市中原区宮内4-1-1

電話 044-733-3933

FAX 044-733-2400

E-mail 16koubun@city.kawasaki.jp

ホームページ <http://www.city.kawasaki.jp/>

shisetsu/category/19-4-0-0-0-0-0-0-0-0.html

category/19-4-0-0-0-0-0-0-0-0.html